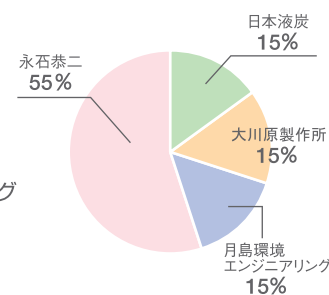


沿革 history

平成6年12月(1994年)	日本液炭株式会社(旧 液化炭酸株式会社)、月島環境エンジニアリング株式会社(旧 日鉄化工機株式会社)と永石恭二により、流動床式焼却炉の普及を目的に設立。
平成7年1月(1995年)	大手化学ぞうきんメーカーより指定を受け、全国の工場へ納入を開始
平成8年7月(1996年)	佐世保市白岳町99番地1に組立工場建設
平成8年9月(1996年)	東京都北区赤羽に東京支店開設
平成10年9月(1998年)	二軸剪断式破碎機の製造・販売開始
平成10年12月(1998年)	真空乾燥機の製造・販売開始
平成16年9月(2004年)	真空廃液濃縮装置の製造・販売開始
平成17年4月(2005年)	株式会社大川原製作所と真空乾燥機で技術提携
平成19年3月(2007年)	バイオマスボイラの製造販売開始
平成21年3月(2009年)	株式会社大川原製作所との資本関係を結び

会社概要 outline

商号	株式会社永石エンジニアリング
設立	平成6年12月(1994年)
資本金	1,000万円
代表取締役	永石恭二
従業員	10名
本社	〒857-1164 長崎県佐世保市白岳町100番地4 TEL:0956-31-5778(代) / FAX:0956-31-5813
東京支店	〒115-0055 東京都北区赤羽西1丁目36番8号 TEL:03-5948-8638(代) / FAX:03-3907-9233
取引銀行	親和銀行 卸本町支店 三井住友銀行 赤羽支店 十八銀行 大塔支店



業務内容 work contents

1. 流動床式焼却炉の製造・販売
2. 真空乾燥機の製造・販売
3. 二軸剪断式破碎機の製造・販売
4. 真空廃液濃縮装置の製造・販売
5. ドラムドライヤの製造・販売
6. 流動床式バイオマスボイラの製造・販売
7. 焼却炉の解体工事
8. その他環境機器の製造・販売
9. 各種耐火物販売

【建設業の許可 長崎県知事許可 第10146】

管工事業／電気工事業／清掃施設工事業
とび・土工事業／機械器具設置工事業



本社事務所・工場



東京支店

環境装置のクリエイティブサポーター

Clean Innovation

NAGAISHI ENGINEERING PROFILE

クリーンな未来の創造・・・

生活水準の向上に伴って増え続けてきた“廃棄物”・・・

今、この「廃棄物」処理問題は未来の環境を守るために早急且つ真剣に取り組まなければならない最重要課題です。

最終処分場の残余年数減少に伴う不法投棄の増加や、地球温暖化の原因となるCO2の増加により、生活を取り巻く環境は日々悪化の一途をたどっています。

当社はこのような環境汚染の防止と改善を目指し、高度な乾燥技術と焼却技術などの豊富な経験を生かして、21世紀の環境汚染防止に貢献していきたいと考えています。更なる挑戦へ・・・

流動床式焼却炉

汚泥・残渣・畜産廃棄物の焼却には流動床式焼却炉



対 象

脱水汚泥、生ゴミ、鶏糞などの家畜排せつ物、食品残渣、水産加工残渣、スラッジ、刈り芝、茶滓、牛の特定危険部位ほか

燃 料

A重油、都市ガス、LPG

原 理

火床の上に硅砂を入れ、バーナーで加熱しながら空気を噴出させると硅砂は浮き上がり、液体が沸騰しているような「流動層」が形成されます。この流動状態の硅砂を、焼却可能温度まで加熱し、焼却対象物を順次投入すると、熱せられた砂が全面・細部に至り接触し、瞬時に「乾燥・焼却」が行われます。

特 徴

- 水分99%の廃液の焼却も可能
- 乾燥機との組み合わせによりランニングコストの大幅削減が可能
- 国内50台以上の実績
- ダイオキシンの測定実績は、法規制値の1／10～1／100
- 24時間連続運転が可能

処理量

日量最大50tonまで各種 最小能力80kg／Hr



流動床式バイオマスボイラ

コーヒー滓、家畜排せつ物や生ゴミを燃料として蒸気や温水を回収して有効活用。燃焼灰を肥料化へ！

バイオマスとは

家畜排せつ物や生ゴミ、木屑など動植物から生まれた再生可能な有機性資源のことをバイオマスと呼びます。太陽のエネルギーを使って生物が光合成によって合成することから、生命と太陽がある限り持続的に再生可能な資源となります。このバイオマスは有機物であるため、燃焼させると二酸化炭素が排出されます。しかしこれに含まれる炭素は、そのバイオマスが成長過程で光合成により大気中から吸収した二酸化炭素に由来します。そのため、バイオマスを燃焼しても全体として見れば大気中の二酸化炭素量を増加させていないと考えて良いとされています。

特 徴

- 高効率熱回収
燃焼熱を効率よく蒸気や温水に変えて供給することが出来ます。また、熱風発生炉としての利用も可能です。
- 無人運転 ●無煙無臭 ●低価格 ●堅牢
- 省スペース ●残灰が僅か



対 象

汚泥、コーヒー滓、鶏糞など
※その他の家畜排せつ物、発酵後の豚糞・牛糞・鶏糞

処理量

日量最大50tonまで各種 最小能力80kg／Hr

燃 料

A重油、都市ガス、LPG ※起動時使用

真空乾燥機

汚泥や残渣の乾燥リサイクルには真空乾燥機



対 象

脱水汚泥、生ゴミ、食品残渣、水産加工残渣、スラッジ、茶滓、コーヒー滓など

処理量

最小1m³/バッチから日量最大10m³/バッチ

熱 源

蒸気、温水（コージェネレーションの廃熱など）

原 理

真空状態では水の沸点が低下するため、低温で水分を蒸発させることができます。装置本体に投入された汚泥や残渣などは、伝熱効果を高めるためのインペラーにより攪拌されながら加熱された装置内面と接触し、効率良く乾燥が行われます。

特 徴

- 真空式のため臭気が殆ど発生しない
 - 低温乾燥のため成分変化が少ない
 - リサイクルに適した水分10%以下まで乾燥できる
 - 汚泥を1／6～1／10まで減容可能
 - 従来機種と比較して10%以上のコストダウンを実現（当社比）
- ※乾燥品の成分によっては販売先の斡旋も行っております。



真空廃液濃縮装置

廃液の減容化には真空廃液濃縮装置



特 徴

真空式のため臭気が殆ど発生しない。低温乾燥のため成分変化が少ない。

焼却炉解体工事



- ダイオキシンばく露防止対策特別講習の徹底を図り、作業者や周辺環境への汚染を防止します。
- 管理区域レベル3までの多数の実績があります。
- 付着物の高圧洗浄が行えない現場では、炭酸ガスプラストにより排水を出さずに工事を行います。

二軸剪断式破砕機

破砕により減容・リサイクル・焼却に貢献します。



特 徴

- 液体を含む対象物であっても、軸受けからの液漏れが無く、軸受けが腐食して壊れることはありません。
- 騒音や振動、粉塵の発生が殆どありません。
- ご要望にあわせた破砕サイズで設計を行います。
- 過負荷保護機能によりカッターを傷めません。

主な対象物

紙類、プラスチック類、ダンボール箱、廃棄乳製品（中身含む）、食品パック（中身含む）、ペットボトル、石膏ボード、飲料品用コンテナ、動物系固形不要物、空き缶、電線、木材、IC基盤 他

